

新国保制度移行に向けて

国保情報集約システム等説明会

社会福祉総合センター大会議室
平成29年6月6日

平成29年6月6日、奈良県社会福祉総合センター大会議室において、奈良県内の市町村国保担当56名を集めて国保情報システム等説明会を開催した。奈良県からは保険指導課から臨席があった。

冒頭、電算介護課村岡課長から本年7月から実施する国保情報集約システムの運用テストについて、お願いと疑問点を解消するため説明会を開催した。そして続いて、次のような説明があった。



村岡課長説明

○ 運用テストの事前準備として、端末設定の現地作業を、既に業者に委託し、6月中に完了する予定となっている。

○ 奈良県国保連合会と各々保険者と締結する国保情報集約システムの本稼働前の業務に係る委託契約書を早急に行うこと。



担当者からの説明

その後、それぞれの担当者から、「運用テストの概要」について具体的に説明があった。

○ 6月20日公開のリリース2適用により、7月から9月までに3種類の運用テストを実施する。

○ 「フェーズ2の1」については、連合会から配布するテスト

用データを使用して、全市町村が日次処理を実際に行うことで、操作性を体得してもらう。

○ 「フェーズ2の2」では、各市町村でシステム改修により作成した資格データをアップロードしていただき、エラーデータの精査をしていただく。

○ 9月から実施予定の「フェーズ2の3」では、実データのアップロード後に、市町村システムで被保険者IDを取り込むことを確認する。

奈良県保険指導課大江主査から情報提供として、「準備事業費補助金」「世帯の継続性」について、報告が行われた。

最後に、質疑応答が行われ、「本稼働前の業務に係る委託契約書に関して」、一覧表は自庁以外の38市町村となっていること。再委託先の許諾についても同時に提出が必要なことを補足説明し、説明会を終了した。